

最先端の技術と医療とあなたを結ぶ

きすな

VOL. 23

Winter
Spring

PUBLICITY PAPERS

近畿大学病院
Kindai University Hospital

医療でつなぐ
未来のまちづくり



MOVING TO IZUMIGAOKA



2023年、医学部と病院が 「泉ヶ丘」で生まれ変わります。

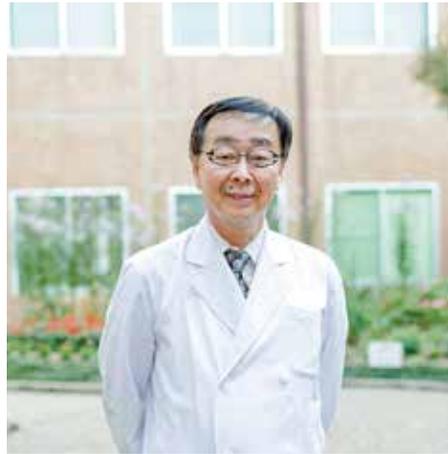
高度医療を提供する病院×未来の医療人を育てる医学部が中心となり、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョンで計画されている「教育・^{けんこう}健康」のまちづくりに寄り添った、「地域に開かれた新しいキャンパス」を創り、地域に貢献いたします。

患者さまの

より適切な医療と
より良い生活のために

あらゆる病と向き合う患者さまを
先進医療と地域医療連携業務で支
えていきます。

当院は、1975年の開院以来、安全で
質の高い先進医療を提供すると共に、教育病
院として、医療者を育成すべく努力を重ねて
まいりました。



病院長

東田 有智

(とうだ・ゆうち)

この度、2019年4月1日を持ちま
して、近畿大学病院へと名称変更を行い、装
新たに再出発いたしました。これもひとえ
に、皆様からの温かいご支援とご協力のおか
げと深く感謝いたします。

高度急性期・専門的医療を提供する特定機
能病院としての役割を果たすため、地域の医
療機関との連携を図り、症状が落ち着いた患
者さまが地域の医療機関へ戻る際は、支援を
行うなど、地域医療の発展にも貢献していま
す。

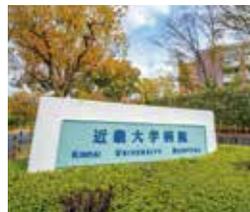
また、2023年には医学部と共に堺市
泉ヶ丘地区に移転する予定となっております。
がんセンター、脳卒中センター、心臓血
管センターなどの最新機能を兼ね備えた構想
が計画されています。移転により医療サービ
スの質向上はもちろん、今よりもさらに患者
さまに近い病院を目指したいと考えています。

理念

患者本位の開かれた病院と
して、安全で質の高い先進
医療を提供します。

基本方針

- ◎教育病院として、人に愛され、
信頼され、尊敬される医療人を
育成します。
- ◎特定機能病院として、医学
医療の進歩に関与し、社会に
貢献します。
- ◎南大阪における基幹病院
および救急災害拠点として
地域医療に貢献します。
- ◎働きがいのある病院として、
チーム医療と環境整備に
努力します。



最新の病院情報とあなたを結ぶ広報誌「きずな」は、みなさんとのつながりを大切に、年2回発行されています。

CONTENTS 表紙：左から鳥野肇之(事務職員)・土屋遥香(看護師)・林美沙(管理栄養士)・松岡弘道(医師)

- | | | |
|---------------------|-----------------------|---------------------------|
| 01 病院長メッセージ/理念/基本方針 | 08 KINDAI NOW | 14 つなぐ/卒業生の今 |
| 02 今、気になる病 | 10 こんにちは薬剤部です | 15 イベントスケジュール/メディカルアンティーク |
| 04 [特集1] 呼吸器外科 | 11 おいしい栄養食レシピ | 16 各相談窓口のご紹介 |
| 06 [特集2] 消化器内科 | 12 Message from NURSE | 17 近畿大学医学部・病院開設50周年記念事業募金 |
| 07 [特集3] 心療内科 | 13 患者支援センターからのお知らせ | |

がんゲノム 医療が叶える オーダーメイドで がんを治す 未来

がん治療の新時代へ挑戦を続ける
腫瘍内科の中川和彦 主任教授と武田真幸講師。
近年、脚光を浴びる「がんゲノム 医療」について聞きました。



武田真幸 講師
(たけだ まさゆき)
2001年奈良県立医科大学卒。国立がんセンター研究所薬効試験部を経て2008年より近大病院腫瘍内科にて勤務。治療を目的すべく日々がん診療・研究に取り組んでいる。趣味はドライブ、温泉巡り(スーパー銭湯含む)。



中川和彦 主任教授
(なかがわ かずひこ)
1983年、熊本大学医学部卒。初めての担当患者が若い進行肺癌患者であったことから腫瘍内科医を目指す。モットーは「悔いの無い人生」。がん患者に寄り添う医師でありたいと願う、62歳。

がん治療の明日を支える 遺伝子解析

「がんゲノム医療」は、遺伝子が異変を起こすことで発症するがんのメカニズムに着目し、研究が進んでいる新しい医療です。がん患者さまの多数の遺伝子を「がん遺伝子パネル検査」で詳しく調べて遺伝子変異を探し、対応する最適な治療薬をより早く選び出して投与します。患者さま一人一人の状態に合わせた個別性の高い治療を提供するものとして期待されています。

近年、がんゲノム医療の実用化に向けた研究は肺がんをモデルに進められました。それにより特に非小細胞肺がん(腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん)は、原因となる細胞の遺伝子変異が次々と明らかになり、対応する分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬といった新しい薬剤の開発や治療法が加速度的に進歩。治療後の経過は確実に良くなってきました。医師の間ではこの肺がんの例にない、他のがんの研究も活性化しているという機運が高まっています。また、2019年6月からはがん遺伝子パネル検査が保険適応となり、がんゲノム医療の実用化への動きがスピードアップすると見られています。

治療の可能性を広げる 薬剤開発が急務

ここ数年の間にさらに研究・開発が進み、パネル検査以外の方法が登場して、得られる遺伝子の情報量が格段に上がっていくと予想されます。AIなどの力も借りて情報を読み解く精度も高まり、投与した薬が体内でどう代謝されるのか、また、どんな副作用の可能性があるのかまで事前に予測できるようになるかもしれません。実現すると、より細やかな治療を患者さまに提示できるようになると思います。

とはいえ、がんゲノム医療はまだ始まったばかり。期待が膨らむ一方で問題は山積しています。まず一つに、薬剤の開発がまだまだ発展途上だということ。患者さまは薬にもすがらないでパネル検査を受けますが、薬剤の恩恵を受けられるのは一握りです。遺伝子変異の情報が得られても、実際に最適な薬の選択につながるのはいく割から2割程度。対応する薬が存在しないケースが多々あります。この厳しい現状をどう打開するかが、私たちに課せられた最も大きな課題。スピーディーに薬剤開発

がんゲノム医療拠点病院 としての使命

当院では2014年にライフサイエンス研究所内にゲノムセンターを設立。以降、積極的にゲノム研究を推進してきました。5月にはがんゲノム医療に関する高度医療機関病院の役割を担うべく、院内に新しく「ゲノム医療センター」を開設。腫瘍内科と病理部、中央臨床検査部及びゲノム生物学教室が中心となり、進行がんの患者さまを対象に遺伝子パネル検査を実施することができるようになりました。これからは広く薬物治療の機会を提供していきたいと考えています。

さらに、当院は厚生労働省より「がんゲノム医療拠点病院」に指定されました。大阪府内で指定を受けた3病院中、府内の大学病院は当院のみ。今後は南大阪エリアをはじめ、奈良や和歌山などのがん患者さまを集約化し、私たちが先頭に立って地域や日本のがんゲノム医療を推進していきたいと思いを強くしています。

を進め、幅広い薬剤選択を可能にすることが待ち望まれています。がんゲノム医療は今後、当院の中心的な役割を担う医療になるでしょう。患者さまが充実した治療を受けられるよう、これまで以上に医師の人材育成を強化し、万全な体制を整えていきます。また関西一の治験数を誇る当院は、がんの新しい薬剤をスムーズに提供できる強みを持っています。こうした利点を患者さまにうまく還元しながら、引き続きがんゲノム医療の発展に尽力していきたいと思えます。



壁に掛けられたダイナミックな墨跡「結心」は、第55回日本肺癌学会学術集会の開催コンセプト「Alliance for Lung Cancer」に基づく、書家川尾朋子さんの造語。この学術集会をきっかけに、医師だけでなく、様々な医療者、患者・家族・市民、そして社会と心で結ばれることへの願いと、「結心(けっしん)」、肺癌学会の「決心(けっしん)」を表しています。

今、注目したい 肺がん治療の 新しい術式

日本人の死因1位であるがん。なかでも肺がんは最も死亡率が高く、年間7万3000人以上が亡くなっています。一人でも多くの命を救おうと日々尽力する当院の呼吸器外科医たちが語る肺がん外科治療の今とは。



DaVinci ダヴィンチ手術

Specialist Talk

Uniportal VATS

単孔式胸腔鏡手術



▶ダヴィンチ手術(ロボット支援下内視鏡手術)
1~2cmほどの複数の孔から内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、3D立体画像を見ながら遠隔操作で装置を動かして行う手術。最後に切除した肺を取り出す孔も3cmほど。

▶単孔式胸腔鏡下手術(Uniportal VATS)
3cmの1つの小さな孔から器具を挿入して行う、最も低侵襲な胸腔鏡下手術。手術時間やコストが大幅にカットできるのがメリット。

特集 1 呼吸器外科 スペシャリストトーク



千葉真人 助教
(ちば まさと)

2007年山形大学卒。愛知県がんセンターで研修を経て現職。趣味は筋トレと読書。モットーは「全力投球」。若手ながら、これまで1000件を超える肺がんの手術に携わってきた呼吸器外科のホープ。



光富徹哉 主任教授
(みつとみ てつや)

1980年九州大学卒。米国立がん研究所研究員や愛知県がんセンター副院長を経て2012年より現職。モットーは「患者さんが納得できる治療を提供すること」。ピアノやチェロ、家庭菜園が趣味な意外な一面も。



宗淳一 准教授
(そうじゅん いち)

1998年岡山大学卒。同大大学院講師などを経て、2019年4月より現職。趣味は、学生時代から続けているテニス。「誠心誠意」をモットーに、患者さん一人ひとりへの心のこもったサポートを心がける。

負担軽減の高度手術を実践

光富 肺がん治療は進行度や身体状況に応じて手術療法、放射線療法、薬物療法を選択しますが、患者さんに一番「治るチャンス」を提供できるのが手術療法。昨年4月にダヴィンチによるロボット支援手術が保険適応になりましたが、この手術の経験を積んだ宗准教授が岡山大学病院から着任し、当院の肺がん治療の選択肢が増えました。

千葉 従来、肺がんは開胸手術を軸とした身体的負担の大きい術式が主でしたが、近年は手術機器や技術の進歩で「身体に優しい、負担が少ない」がキーワードになっています。

宗 その一つがダヴィンチを使った手術。私の場合は3つの小さな孔にダヴィンチ鉗子を挿入し、高度な内視鏡手術を実践しています。内視鏡カメラを入れる孔、最後に肺を取り出す孔を合わせると、数センチ程度の孔が合計5つ。とても傷が小さく組織のダメージが少ないため、術後の痛みは軽く、回復も早いです。今後は近大病院でもより実績を上げていきたいと思っています。

光富 頼もしいですね。千葉助教も話題の単孔式胸腔鏡下手術(Uniportal VATS)を実践してくれています。

千葉 Uniportal VATSはヨーロッパやアジアで広がり、日本では最近急速に注目され始めた術式。その先進国である中国・上海で学んでこいと背中を押してくださったのは光富教授でした。

光富 千葉君が暇そうにしていたから、つていうのは冗談ですが(笑)。中国語がしゃべれなくてもどんな環境にも馴染めるキャラクターを見込んでのこと。帰国後も技術向上にかなり努力していますね。

千葉 師事したゴンザレス先生が世界を股に掛ける外科医で、海外で手術をする際に呼んでもらったり、手術動画を穴が空くほど見たり。Uniportal VATSは高度な技術が必要なので、豚の心肺を使って日々腕を磨いています。ただ、中国の術式は安全性などに不安があったので、宗先生の指導の下、機器や手法を日本の基準に沿うよう変えました。

光富 千葉君の技術は多方面から注目を集めていて、講演にも呼ばれたりしています。トレーニングシステムの開発も手がけ、今や日本のトップランナーです。技術向上においては宗君も熱心ですね。

宗 ダヴィンチ手術の前日は、専用のトレーニングシステムで練習してから本番に臨んでいます。3Dモニターを使った拡大視での手術は肉眼よりクリアなうえ、手ぶれがなく可動域が広いことがロボット手術の利点であり特殊なところ。機器頼りにならず、正確に操るのは人の手ありきと肝に命じ、技術の向上を心がけています。

光富 近い将来、ロボット手術とUniportal VATSのメリットに着目し

確実性と安全性を重視

た、より患者さんの負担を軽減できる融合型が誕生するのではないかと期待しています。

宗 確かにUniportal VATSやロボット手術は創が小さいために身体への負担が少なく、術後の回復が早いですが、がんを取り残さない確実性は、光富先生が得意とされる開胸手術のほうが優れています。トレンドばかりを追う、手術の質が低下しては本末転倒。クオリティは担保し創を縮小することが、がん手術の原則だと思います。

光富 また同時に、積極的な薬物療法の開発も急務です。今、関心を寄せているのが、京都大学の本庶佑先生が開発された免疫チェックポイント阻害薬。術前投与でがんを小さくしてから手術は有効で、手応えを感じているところ。難治性の高い肺がん患者さんの光明となってくれそうです。大病院としては標準治療を基本に新しい術式にも挑み、治療の可能性を広げることが使命でしょう。

千葉 当院の呼吸器外科医は個性派ぞろい。各々得意な手技を持ち、幅広い術式が提供できることを患者さんに示していきたいですね。

光富 皆が良いところを持ち寄り、患者さんの価値観や治療の好みを尊重しながら、確実性と安全の高い肺がん手術を目指していきたいですね。



肝細胞がんの新治療法を考案 延命と根治の可能性を広げる

標準的な治療法がなかった多発・大型の進行性肝がんに対し、消化器内科工藤正俊主任教授らの研究グループが画期的な治療法を考案しました。「LEN-TACE sequential 治療」と呼ばれる新治療法は、薬物療法の第一選択薬である分子標的薬レンパチニブを、これまでの標準治療法である肝動脈塞栓療法（TACE）を行う前に投与。生存期間を延長させ、根治も目指せると注目を集めています。

たところ、TACE 単独の治療と比較し生存期間を2倍近くまで延長。うち20%弱の患者さまの体内からがんが消え、その後も全く再発がない人が認められるなど、高い治療効果を証明しました。工藤主任教授は「今回の研究結果は患者さまにとって朗報。世界の新たな標準治療とし、生存率を上げて更なる検証をしていきたい」と意気込みます。



工藤正俊 主任教授
（くどう、まさとし）
1978年、京都大学医学部卒。当時の肝細胞がんの患者さまは、発見されてから、わずか3〜4カ月で亡くなられたことに衝撃を受け、肝がん撲滅を決意。モットーは「意思あれば道は開ける」。趣味はマラソン、山登り、ラフティング。

自己免疫性膵炎の発症に 腸内フローラが深い関わり

ウイルスなどを排除するために備わる体内の免疫細胞が誤作動し、自分の膵臓を攻撃して起こる「自己免疫性膵炎」。この難病の発症に、腸内フローラの変化に対する免疫反応が影響していることを、消化器内科渡邊智裕准教授らの研究グループが明らかにしました。ヒトの腸管には約100兆個の細菌がバランスを保ちながら常在しているとされ、腸内細菌叢（腸内フローラ）と呼ばれています。近年は腸内フローラが腸管の免疫反応を制御することでさまざま病気の原因となることがわかってきており、渡邊准教授らも注目。自己免疫性膵炎を発症させたマウスに抗生剤を飲ませて腸内細菌を死滅させると、炎症原因のタンパク質が減少



渡邊智裕 准教授
（わたなべ、ともひろ）
1993年、京都大学医学部卒。胃の病気がヒロリ菌で起こることに衝撃を受け、消化器疾患の診療と研究を志した。専門は消化器領域の免疫疾患（炎症性腸疾患や膵炎）。趣味は読書。予想外のこと病気に悩むことに日々驚いています。



「笑いの」実力も 医学的に検証

近年、その健康効果が注目されている「笑い」。心と体にとって、心療内科小山敦子教授、阪本亮助教授らが医学的に検証しました。研究では、吉本興業が2週間間隔で計3回エンタメを提供し、鑑賞中の「喜び」「驚き」などの表情データをオムロンの機器を用いて収集。同時に心拍数、呼吸のバイタルデータをNTT西日本の機器を用いて解析しました。その結果、笑うことで男性は「緊張・不安」「怒り・敵意」のスコアが改善され、女性は「混乱」などのスコアが抑えられる結果となりました。今後はさらにタイミングやシチュエーションの違いによる効果を検証していく予定です。



吉本なんばグランド花月での表情データ測定の様子



近畿大学病院の心療内科では、がん患者さまの緩和ケアを積極的に行っています。心療内科医が緩和ケアに取り組むことは全国的にも珍しく、身体の痛み、精神の痛み、社会的苦痛、人生の無意味・無価値・孤独からくるスピリチュアルペインの4つを総合的に診断し、患者さまの苦痛を和らげるよう努めています。日本の医療は日進月歩ですが、緩和

ケアにおける薬物療法の開発は他国と比べ遅れている分野。近年、がん患者さまが急増している中で少しでも発展してほしいという思いから、同緩和ケアセンターの松岡弘道准教授は、がん患者さまの神経障害性疼痛に関する研究を進めました。

痛みは多くのがん患者さまが経験しますが、特に神経障害性疼痛は難治性で、明確な効果を示す薬がありません。また、がん患者さまの2〜3割はうつ状態（うつ病、適応障害）に苦しんでいると言われていますが、がん患者さまは治療、副作用対策などで、どうしても多剤併用になってしまします。そこで松岡准教授は欧米などでは痛み止めとして、日本では抗うつ薬※1

として使用されていたデュロキセチン※2に着目し、研究を推進。神経障害性疼痛のがん患者さまに処方したところ、鎮痛補助薬として一定の効果があることがわかりました。そこで、松岡准教授は緩和ケア研究先進国のオーストラリアに留学し、得た知識を糧に、がん患者さまの神経障害性疼痛に関する国際共同研究デザインを作成し帰国。日豪合同で研究を進めることにしました。「痛みの度合いは数値では測れず、理解されずに苦しんでいる人がたくさんいます。また、機械的に医療用麻薬が増量されることも、今後必ず問題となります。今後もオーストラリアと研究を進め、デュロキセチンを含めたがんの神経障害性疼痛に使用できる薬剤の適応拡大を目指します」と松岡准教授。がん患者さまを苦痛から救うための努力は続きます。

松岡弘道 准教授

（まつおか、ひろみち）
2002年奈良県立医科大学卒、2012年近畿大学大学院修了。2017〜2018年 University of Technology, Faculty of Health に Visiting Professor として勤務。がん医療における緩和医療、精神腫瘍学、ストレス関連の身体症状（慢性疼痛、摂食障害など）を専門とする。趣味は旅行「Stay hungry, Stay foolish」をモットーに、自分の信じる道を突き進む。

※1 2012年研究開始当時。現在は、糖尿病の神経障害、腰痛や関節症、線維筋痛症などには保険適応有
※2 現在もがん由来の神経障害性疼痛へは保険適応外

がん患者を 痛みから救う 薬物療法の拡大を 目指して





脳神経内科
ギラン・バレー症候群の
重症化や回復の程度が予測可能に

ギラン・バレー症候群とは

風邪を引いたりひどい下痢を起こした後、数日してから手足がしびれたり力が入らなくなったりする病気で、細菌やウイルスの感染をきっかけに、本来は外敵から身を守るはずの自己抗体が間違っ

て自分を攻撃してしまうことが原因と考えられています。発症後一カ月を過ぎると回復に向かい、多くの人はほぼ元通りの生活が可能になりますが、最もひどいときには息ができず人工呼吸器が必要になることもあり、また後遺症が残ることもあります。



レー症候群には異なる点があり、スコアが日本人の患者さまに適用できるのかもきちんと調べられていませんでした。

そこで、脳神経内科の楠進主任教授が班長を務める研究班が、日本医療研究開発機構（AMED）から資金を得てスコアの有効性について調べました。その結果、オランダのグループが報告した各種のスコアは日本のギラン・バレー症候群の診断でも役に立つことを確認。世界で初めてその信頼性を明確にしました。

現在、ギラン・バレー症候群の治療は、血液から抗体を取り除く血漿交換と免疫グロブリン大量療法があります。将来的にはより効果の高い新たな治療が開発される可能性もあり、患者さまの治療法を決める際に、このスコアは大変役立つと考えられます。

脳神経内科では、全国の大学や病院の協力のもと、ギラン・バレー症候群の血液中に検出される自己抗体の研究が進んでいます。今後も最先端の診療や研究に取り組む、早期診断や適切な治療の発展に力を注ぎます。



今秋

リウマチセンター開設



診断・治療から社会復帰までを支援

当院では、関節リウマチの早期発見・治療のため10月1日にリウマチセンターを設立しました。血液・膠原病内科や整形外科を中心に、院内の多職種が緊密に連携して適切な検査・診断、最新治療をトータルマネージメント。

通常、関節リウマチの診断が確定後、抗リウマチ薬を開始、効果不十分なら時期を逸さず分子標的薬（生物学的製剤を含む）を使用し、本症の原因である免疫異常（過度の自己免疫現象やTNF- α 、IL-6



の増加）を是正。また、合併症対策やリハビリテーション、社会復帰に必要なサポートを行い、診療科の垣根を超えた診療体制を目指します。

さらに、当センターでは新規治療法の臨床研究や試験にも力を注ぎ、その成果を病態の究明や新たな治療法の開発にも役立てていく予定。

船内正憲センター長は、「高齢化に伴い、リウマチだけでなく多彩な合併症に備えて、速やかな診断と適切な治療を効率良く達成することが目的。今後は症例ごとに異なるリウマチの程度、内臓機能、合併症、副作用などを考慮した、最新のテーラー・メイド医療を行っていきたい」と話し、実現に向けて歩みを進めます。



近大ブルーのエプロンが目印

来院時の小さな困りごとをお手伝いします！

私たちハートィーズがサポートします！



「院内で迷子になった」「車椅子での移動が大変」など、病院を訪れた際に生じるちょっとした困りごと。サポートが必要な時にさっと手を貸してくれる院内ボランティア「ハートィーズ」がいることを知っていますか？ 現在13人が登録し、主な活

動内容は、初再診・受付でのサポート、自動再来受付機の操作サポート、院内案内、車椅子での移動時の手伝い、小児病棟での英語あそび、患者さま対象の教室の補助、支援が必要な人への声かけなど。要望時に即対応できるよう総合案内とも連携しています。「患者さまからの感謝の言葉が励み。スマイルを大事に活動を続けたい」とメンバー。活動の拡大と発展のため、ただいま新規メンバーを募集中。ボランティア保険や健康診断は当院で負担します。希望者は患者支援センターソーシャルワーカーまで、お気軽にお声掛けください。





さばの煮魚

214kcal、たんぱく質 15.6g、脂質 11.8g、食塩 1.3g

EPA や DHA を効率よく摂取するにはできるだけ脂を逃さない必要があります。その代わり高エネルギーにならないようにその他のおかずのエネルギーを抑え、組み合わせを工夫しましょう。また生姜や葱など香味野菜を加えることで魚特有の臭みも消え、減塩にも役立ちます。

■ 材料

さば……………1切 濃口しょうゆ ……小さじ1
 土生姜(薄切り) ……1~2枚 淡口しょうゆ ……小さじ1/2
 ごぼう ……………20.0g 砂糖…………… 小さじ1/2
 東京葱…………… 20.0g みりん …………… 小さじ1/2
 酒…………… 小さじ1

■ 作り方

- ① さばは皮に切り込みを入れてさっと湯にくぐらせて臭みを取る。ごぼうは軟らかく茹でておく。
- ② 鍋に調味料とスライスした生姜を入れて中火にかけ、煮立ったらさばを入れる。
- ③ クッキングシートなどで落とし蓋をして弱火で10~15分煮汁が少なくなるまで煮る。

Point ・煮ている間に何回かスプーンで煮汁をかける
 ・ごぼう、東京葱は臭みを取るため最初から入れても OK

糖尿病の方は副菜チェンジ!

高エネルギーにならないよう玉子をきのこへ変更し、ヘルシーに!



さばの煮魚、きのこチャンプルー、おろし和え、米飯 150g

576kcal/ タンパク質 :25.6g/ 脂質 :18.3g/ 食塩 :2.5g



おいしい栄養レシピ

近大栄養部監修

Theme

サバ

病院食は普通食を基本にして、減塩食や糖尿食など様々な食種に合わせて調整しています。減塩食は一日食塩付加6g以下を基本にしており、糖尿食は個人に合わせたエネルギー量をバランスよく摂れることが大きな特調です。最近、話題になっているEPAやDHAは青魚に多く含まれています。今回は青魚の中でもEPAやDHAの含有量がトップクラスのさばを使ったレシピをご紹介します。

減塩メニュー



さばの煮魚、玉子チャンプルー、おろし和え、米飯 150g

607kcal/ タンパク質 :27.8g/ 脂質 :20.7g/ 食塩 :2.6g

チャンプルー

沖縄の方言で「ごちゃませ」という意味。お家にある野菜でつくれます。豆腐の水をしっかり切るのがポイント。

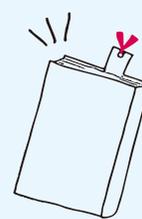


薬剤部です



急ぎの問い合わせに対応中

適切で安全な治療を支える薬剤情報室



今回は病院の裏方中の裏方、薬剤情報室についてご紹介いたします。薬剤情報室は薬剤部に属していますが、薬を置かず、患者さまと直接接する機会がほとんどありません。日々アップデートされる薬の情報を収集し重要度別に分け、院内に速やかに伝達。適正かつ安全な使用をサポートするのが主な仕事です。当院が治療で使う薬は2200品目以上あり、新薬も続々と登場しているため、情報量は膨大です。それらについて把握し、医師や看護師などから質問の電話が入ると資料を調べて返答します。薬の用法・

用量、副作用や飲み合わせ、注射剤の配合変化を確認するなど、現場の幅広いニーズに添えています。患者さまからの問い合わせに外来・病棟担当薬剤師が答える際、必要な情報を提供することもあります。電話での対応は丁寧さと慎重さが不可欠。聞き間違いや誤解を防ぐため、復唱を徹底し、安全性の向上に努めています。朝から電話が鳴り止まず業務に追われる毎日、院内スタッフからの「助かったよ」「ありがとう」の言葉が励み。「正しい情報を正確に伝える」ことを第一に、患者さまが安心できる適切な治療を支えています。



刻々と変わる薬の最新情報はボードで共有



＋
患者支援
センター

その人らしい毎日を
共に考え、
支えていきたい

院内に設けられた患者支援センターは、医師や看護師など総勢約60人の職種が集まり患者さまの療養生活にまつわる相談を受けています。その中で医療ソーシャルワーカーとして活躍している濱谷通代さん。患者さまやそのご家族が抱える経済的・心理的・社会的な問題について支援しています。「急な病気や怪我に見舞われると様々な不安が生じるもの。治療に関しては医師や看護師たちが全力で対応しますが、それだけでは患者さまの不安を解消することはできません。患者さまの置かれている状況によっては、医療費や今後の療養、仕事や子育てといった生活に関する困りごとが生じることもあります。そのため私たちは患者さまが抱えている不安が少しでも和らげるよう、社会保障制度の活用を提案したり、関係機関との連携を図ったり、患者さまの生活に焦点をあてた支援をしています」と濱谷さん。「その人らしい」生活がどうすればおくれるのかを一緒に

患者支援センター
医療ソーシャルワーカー
濱谷通代 技術主任
(はまたに・みちよ)

経験を積んだ
スタッフがそろっています。
いつでも気軽に
ご相談ください。



考え、支えることが役割だと力強く語り
ます。
当院では、診療科ごとに担当するソーシャルワーカーを決めており、入院中だけではなく、退院後もできるだけ担当者が関わり続けられるよう心がけています。また、がん相談支援センターや緩和ケアセンターなどにも配属しており、外来相談にも力を注いでいます。
患者さまと接する上で濱谷さんが大切にしていることは患者さまの気持ちを汲み取る姿勢。「気持ちに寄り添い、思いにしっかりと耳を傾けるところから支援は始まります。表面上の問題だけではなく、その背景にある事柄にも目を向けてお話を伺うようにしています」。
病院の中にも生活の悩みを相談できる場があることを、まずは多くの人に知ってもらいたいと話す濱谷さん。それぞれのソーシャルワーカーが専門性を発揮し協力し合い、患者さまに安心を届けたいと話されています。

生活に寄り添う
外来看護で
脳卒中のリスクを
減らす

脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師
林真由美
(はやし・まゆみ)



当院では、脳卒中の治療後に自宅療養している患者さまへのフォローや、脳卒中予備軍と診断された人の発症を防ぐため、脳卒中看護外来を設置しています。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として、現在は1人で外来を担当し、年間約80人の患者さまを指導。指導用パンフレットを医師や病棟スタッフと協同で作成し、生活の中で気をつけるべきことや発症時の対応を伝えたり、療養中の悩みや不安などに寄り添ったりしています。
私が看護師になったのは30歳のとき。脳神経外科の看護に憧れ、OLを辞めてこの世界に飛び込みました。実際に働いて驚いたのは、脳卒中の治療を終えて退院したはずの患者さまが、再発して入院されることが多いという現実。脳卒中は生活習慣との関わりが深く、入院時に再発予防の指導を行っていますが、伝わっていないと反省しました。退院後に患者さまごとの生活に合わせて指導し直す必要があると考え、医師やスタッフの協力のもと外来を開設して4年。自ら発症に気付き早期に受診したり、食事や血圧を気に留めてくれる患者さまが増え、少しずつ活動の成果を実感できるようになりました。今後は患者さま同士が集える場を提供できればいいなと思っています。

脳卒中看護外来の役割

- 01 「疾患と自分を知る準備」を目標とし、1人30分程度の時間を設けて情報収集と情報提供を行います。
- 02 入院患者さまへは退院後の生活状況、血圧測定の有無、自宅での血圧などを確認し、測定方法を説明します。
- 03 指導したことに患者さまが取り組んでいないときは、原因を探り繰り返し指導に努めます。

外来日/水曜の午後(主に発症予防患者対象)、金曜の午前(主に再発予防患者対象) 各日2時間(要予約)
脳卒中に関する質問があれば主治医に相談の上、脳卒中看護外来へお越しください。

イベントスケジュール

ともに生きる会 無料 予約不要

2019 **12.19(木)** みんなで学ぼう「アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)」
講師 吉田健史 他(腫瘍内科 医師)

2020 **2.13(木)** 近畿大学のPET検査・PET検診・PET研究
講師 花岡宏平(高度先端総合医療センター PET分子イメージング部)

14:00~15:00 PET棟3階 大会議室

近畿大学病院 がんセンター
Tel 072-366-0221(内線3803)

肝臓病教室 無料 予約不要

2020 **3.10(火)** 肝炎ウイルスの種類、B型肝炎キャリアとは？
講師 南知宏(消化器内科 助教)

精密検査で肝臓の状態を調べよう！
講師 中江健市(中央臨床検査部 技師長)

15:00~16:00 PET棟3階 大会議室

肝疾患相談支援センター
Tel 072-366-0221(内線3803)

患者サロン 茶話会 なごみ 無料 予約不要

2019 **12.19(木)** 15:15~16:15
2020 **1.23(木)** 15:00~16:00
2.13(木) 15:15~16:15
3.26(木) 15:00~16:00

PET小

近畿大学病院 がん相談支援センター
Tel 072-366-7096(がん相談支援センター直通)

リボンの会 無料 予約不要

2020 **1.23(木)** がんの治療に伴うスキンケア
3.26(木) がんゲノム医療の知識の整理

14:00~14:45

PET棟3階 大会議室

近畿大学病院 がん相談支援センター
Tel 072-366-7096(がん相談支援センター直通)

がんとお金の関係 無料 予約不要

2019 **12.20(金)** 障害年金について 11:00~12:00
2020 **1.21(金)** がん治療と仕事の両立支援について 14:00~15:00
3.24(火) 介護保険制度について 11:00~12:00

PET小

近畿大学病院 がん相談支援センター
Tel 072-366-7096(がん相談支援センター直通)

市民公開講座 無料 予約不要

2020 **1.28(火)** 肝炎・肝がんの最新治療
講師 依田広他(消化器内科 医学部講師)

14:00~15:30

堺市産業振興センター セミナー室4

肝疾患相談支援センター
Tel 072-366-0221(内線3803)

第12回 がんセンター 市民公開講座 無料 予約不要

2020 **2.8(土)** がん治療最前線 ~みんなの笑顔を見失わないで~
13:00~17:30(12:00受付スタート) 近畿大学医学部 円形棟大講堂

近畿大学病院 がんセンター
Tel 072-366-0221(内線3803)

第5回「世界糖尿病デー」イベント 無料 予約不要

2019 **11.30(土)** 生活習慣病の早期発見と発症予防を目指して 測定体験・展示・ミニセミナーなど
13:30~15:30 近畿大学病院 専門棟2階 第8・9講義室

近畿大学病院 内分泌・代謝・糖尿病内科
Tel 072-366-0221(内線3125)

肝がん撲滅運動公開講座 無料 予約不要

2020 **3.22(日)** 肝がんの最新治療
[主催]近畿大学医学部内科学教室(消化器内部門)・日本肝臓学会
13:00~16:15 国際障害者交流センター ビッグ・アイF 大研修室

近畿大学医学部 消化器内科
Tel 072-366-0221(内線3149)

読売健康講座 無料 要予約

2019 **12.14(土)** 脳神経の専門医からのメッセージ パーキンソン病の治療
14:00~16:00 堺市産業振興センター
〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183-5

申し込み先 講座名(「12/14堺健康講座」)、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数、質問(あれば)を明記し、〒530-0055 大阪市北区野崎町5-9、大阪よみうり文化センターへ送付。FAX 06-6361-3327・メール honbu@oybc.co.jpでも受付可。
[主催]大阪よみうり文化センター、ポストン・サイエンティフィック(株)、近畿大学医学部脳神経外科学教室

Dr.ONOE's **Medical Antique** メディカル アンティーク

売薬版画 —おまけのルーツ!—

団塊世代より年上の方は、子供の頃に配置売薬の営業人、いわゆる売薬さんが、薬のたくさん入った柳行李(やなぎこうり)を背負って、年に一度やってくるのが楽しみだったのではないのでしょうか。薬と一緒に紙風船や紙の帽子などの土産、おまけを持ってきてくれましたからね。

実は商品におまけ(御負とも書くそうです)をつけるという販売形態は、売薬から始まったという説があります。有名なキャラメルのおまけは昭和2年に、少年雑誌の付録が昭和6年に始まったようですが、越中富山の「売薬版画」というおまけがついたのは江戸時代後期のことです。

明治時代後期まで続いた売薬版画の多くは、色数の少ない、安っぽいものですが、売薬さんがそれにまつわる歌舞伎や故事などを語ることで、訪問先の人々を喜ばせていたようです。

医療アンティークコラム

〔参考文献〕根塚伊三郎「売薬版画 おまけ絵紙の魅力」巧玄出版
文/近畿大学病院心臓血管外科 非常勤医師 市立岸和田市民病院 副院長 尾上雅彦(おのえ・まさひこ)

地域医療特集



病院からのメッセージ

泉州二次医療圏内で最多の病床数(400床)を持つ当院は、高度専門医療と救急医療を重点に、診療科や職種を超えたスタッフ体制で質の高い医療を提供しています。近畿大学病院をはじめ多くの医療機関や介護・福祉・行政等とも連携し、地域全体がひとつとなって皆さまを全面的に支える体制の強化に努めています。また市民の方々と交流活動も行い、より良い医療の提供とサービスの向上に努め、信頼される病院として地域医療に貢献してまいります。

1944年に開設された岸和田市立病院中央診療所を前身に、1961年に市立岸和田市民病院として開設されて以来、『温かい心をもって、良質な高度な医療を提供します。』を基本理念に掲げ、総合病院として市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざし、患者さま一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めてまいります。

2002年より、救急センターも設置され、泉州地域で唯一の地域がん診療連携拠点病院(国指定)に指定されています。2010年には、府より地域医療支援病院として承認され、地域医療にも力をいれておられます。最近では、大阪府難病診療連携拠点病院指定としての認定も受けられておられます。

ボランティアにも力をいられ、患者さまを中心に、主治医・看護職・コメディカル等の職種も協力し、組織横断的なチーム医療で市民の方に安心を与え続けてまいります。

市立岸和田市民病院 〒596-8501 大阪府岸和田市額原町1001 TEL 072-445-1000



卒業生の今

医療法人明和会 **小児科八木医院**

平成元年に卒業後、牧淳教授が主宰されていた小児科学教室に入局し、腎臓病の研究を行いました。母が昭和49年に開設した小児科医院を、平成19年5月に継承し開業しました。当院の特徴は、学校検尿などの有所見者に対して、検尿のみならず、血液検査や超音波検査も実施して、腎臓専門医としての診断・経過観察を行ったり、アレルギー専門医として、アレルギー疾患も数多く診察し、最近では、スギ花粉症の舌下免疫療法も行っています。

近畿大学病院とは、精査や入院が必要な子どもを受け入れていただき、その緊密な関係に感謝しております。4年後には近畿大学病院が泉ヶ丘駅前に移転し、これまで以上に距離も近くなり、より一層の病診連携態勢を構築でき、当院に受診される子ども達や保護者の方々にとても安心していただけるかと期待しております。

近畿大学病院とは、精査や入院が必要な子どもを受け入れていただき、その緊密な関係に感謝しております。4年後には近畿大学病院が泉ヶ丘駅前に移転し、これまで以上に距離も近くなり、より一層の病診連携態勢を構築でき、当院に受診される子ども達や保護者の方々にとても安心していただけるかと期待しております。

医療法人明和会 小児科八木医院 〒590-0117 大阪府堺市南区高倉台3-3-2 TEL 072-441-8810



近畿大学医学部・病院 開設50周年事業募金

近畿大学医学部・病院の開設50周年事業として、募金を開設しております。
みなさまの趣旨へのご理解とご支援を賜りましたら幸いです。

目的

本法人の建学の精神を踏まえて、近畿大学医学部の教育・研究・診療を飛躍的に発展させるとともに、これからの医学・医療を担う人材を育成することで日本の医療の発展と地域医療の充実に貢献する。

概要

教育研究への寄付

最先端の研究活動を支え、未来の医療を切り開く。

医療施設設備への寄付

人に愛され信頼され尊敬される医療人を育成する根幹を支える医療施設の充実を。

学生支援への寄付

医療人としての人格形成に有意義な学生生活を支える。

施設設備への寄付

未来志向の医学教育のさらなる発展に向けて。

大学主催行事への寄付

在学生と卒業生を結び絆を育む。医学教育を支えてくれた人々への感謝。



寄付金額

個人：一口 5,000円

※寄付金には税制上の優遇措置が受けられます。



お問合せ資料請求先

近畿大学
医学部・病院事務局 総務広報課 募金係
〒589-8511
大阪府大阪狭山市大野東377-2
TEL:072-366-0319/FAX:072-365-8300
URL:https://www.kindai.ac.jp/medicine/about/facility/50th-anniv/



近大に関わる様々な事業が
わたしたちのビジネスフィールドです



メディカルサポート事業／各種販売事業等／
レストラン・コンビニエンスストア等の事業／
旅行関連事業／保険代理店事業／
建設関連事業／施設管理事業／
自動販売機管理事業／業務委託事業／
印刷・出版事業／

お問い合わせ 受付時間 9:00~18:00(日・祝休)
9:00~13:00(土)

072-365-7863
http://kindai-a.co.jp

■本社
大阪府大阪狭山市大野台1丁目31番33号
■東大阪営業所(近畿大学 東大阪キャンパス内)
大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号 近畿大学31号館1階

SNS最新情報配信中!

Twitter Instagram Facebook



患者支援センター

患者さま・ご家族・医療機関からのご相談やご依頼をお引き受け致します。退院後の不安、セカンドオピニオンや福祉相談、かかりつけ医の紹介など、心配ごとやお困りごとをお気軽にご相談ください。



受付時間 月～金 9:00～17:00
土 9:00～12:45
お問合わせ Tel 072-366-0221(代表)

緩和ケアセンター

がんをはじめ、重い病を抱える患者さまやそのご家族の身体、心などのさまざまなつらさをやわらげ、安心して暮らすことができるように診断時から支えていくのが「緩和ケア」です。つらさや不安を抱え込まず、専門の医師や看護師にお気軽にご相談ください。



受付時間 月～金 9:00～17:00
お問合わせ Tel 072-366-0221(内線3878)

肝疾患相談支援センター

肝疾患相談支援センターでは肝がん、肝硬変、肝炎など、病気の種類に関係なく、肝臓に関するさまざまなご相談に面談とお電話で対応しています。また、治療や検査についてだけでなく、経済的な支援制度に関するお問い合わせいただけます。



受付時間 月～金 9:00～17:00
お問合わせ Tel 072-366-0221(内線3803)

各相談窓口のご紹介

病気のこと、治療のこと、暮らしのこと。
当院ではさまざまな相談窓口をご用意して、患者さまのお悩みや疑問、相談にお応えしています。

がん相談支援センター

がん相談支援センターは国立がん研究センターの研修を修了した相談員が、がんに関するご質問やご相談にお答えしています。がんの診断や治療についてもっと知りたいとき、不安でたまらないときに一緒に考え、情報を探お手伝いをしています。



受付時間 月～金 9:00～16:30
お問合わせ Tel 072-366-7096(直通)

栄養相談室

糖尿病や高血圧、心疾患、腎臓病に対する食事療法のほか、胃や大腸の手術後の食事の進め方、嚥下機能低下時の工夫など、「食」と「栄養」に関するご相談にお答えしています。化学療法中で口内炎や吐気で食べられないなどのお悩みもお聞かせください。



受付時間 月～金 9:00～15:00
土 9:00～12:00
※まずは担当医にご相談ください。

気になったらご相談だけでも

脳PETもの忘れドック

診断が難しい初期の認知症も発見できます
信頼できる専門家がサポート

あつ…また
忘れてるんちゃう？

電話で予約できて検査は日帰り

PET/CTがん検診

2人にひとりのがんになる時代です
最先端の診断でがんを早期発見

まずは
お電話ください

ほな一回、
みてもらおうか！

072-366-0221 (内線 2604/2605)

[月～金] 9:00～17:00 [土] 9:00～12:45

高度先端総合医療センター (PET分子イメージング部) 受付 ※いずれも自由診療となります。

アクセス

近畿大学病院 近畿大学医学部・研究所・看護学校

電車・バスでお越しの場合

大阪メトロ 御堂筋線 新大阪駅	15分	南海電車 なんば駅 (急行)	23分	泉北高速鉄道 泉ヶ丘駅 南海高野線 金剛駅	南海コミュニティバス1番乗場 [狭山ニュータウン・金剛]行 南海コミュニティバス4番乗場 [狭山ニュータウン・泉ヶ丘]行	15分	近畿大学 病院前
-----------------------	-----	----------------------	-----	--------------------------------	---	-----	-------------

患者さま用駐車場ご利用案内

当日受診の患者さま	
入場より3時間まで	100円
入場より4時間まで	300円
4時間 以降60分 100円	
当日1日最大料金 1,000円	
お見舞いの方・一般の方	
入場より1時間まで	300円
以降60分 200円	
最大料金適用日時	平日・土 14:00～24:00 日・祝 13:00～24:00
入場より最初の30分無料	
当日受診の患者さまは、駐車券を院内へお持ちいただき、[2階会計窓口]で割引処理を行ってください。精算は屋外(病院棟1階出入口付近)の事前精算機をご利用くださいますよう、お願い申し上げます。	

各診療科のご案内

3F	産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、疼痛制御センター (麻酔科)、形成外科、歯科口腔外科、東洋医学診療所
2F	循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科、腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、外科 (上部消化管、下部消化管、肝胆膵)、外科 (肺)、外科 (乳腺内分泌)、外科 (小児)、脳神経外科、心臓血管外科、心療内科、漢方診療科、緩和ケア科
1F	整形外科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科

外来受付時間

平日	土曜	休診日
予約外又は 紹介状をお持ちでない患者さま 8時30分～11時30分	8時30分～11時00分	日曜日・祝日 創立記念日 (11月5日) 年末年始 (12月29日～1月3日)
紹介状をお持ちの患者さま 8時30分～14時00分		

※ 当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参いただきますようお願いいたします。
 ※ 初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として10,000円(税別)をご負担いただきます。
 ※ 診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。